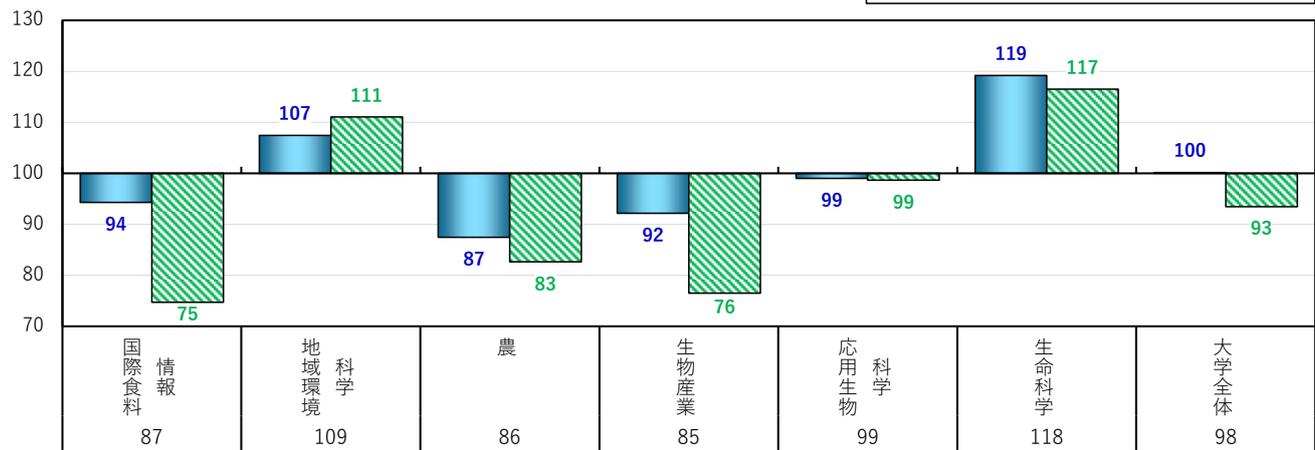


東京農業大：大学全体では微減、共テはやや減少、一般は微増 一般：+24人 共テ：-495人

※前年度の志願者数を100とする指数
 ※学部名の下の数値は学部全体の指数



主な入試変更点 学科名称変更：国際食糧情報(国際バイオビジネス)→国際食糧情報(アグリビジネス)
 入試科目：生命科学(分子微生物)<共テ・2科目型>…理が必須から選択へ、選択に国、数、外追加、理の選択に物追加
 理2 ※理：化+生→{(国or数①or数②or理or外)→2} ※理：物or化or生

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、471人(98)の微減だが6年連続減少。学部別では、増加は6学部中2学部のみ、生命科学(118)は大幅増加、地域環境科学(109)は増加。他の4学部はいずれも減少で、特に生物産業(85)は大幅減少。方式別では、一般方式は24人(100)の微増。<一般・B日程>(125)の大幅増加が目立った。共通テスト利用方式は495人(93)のやや減少。前年度新設の<共テ・前期2科目型>(79)、<共テ・前期4科目型>(80)はいずれも大幅減少。

- <一般方式>**
- 国際食糧情報(94)は、やや減少で3年連続減少。志願者数は2,000人を下回った。学科別では、4学科中で増加は(国際バイオビジネス)から改称した(アグリビジネス)(137)のみで3年連続減少の反動による大幅増加。減少3学科では、(国際農業開発)(70)は大幅減少で2019年度以降反動による大幅な増減が継続。(国際食糧科学)(90)、(食料環境経済)(91)はいずれも3年連続減少。
 - 地域環境科学(107)は、やや増加だが4年ぶりの増加。学科別では、増減が2学科ずつに分かれた。増加2学科は(森林総合科学)(119)は大幅増加で6年ぶりの増加、(地域創成科学)(118)は大幅増加で2017年度の改組後初の増加。一方で、(造園科学)(91)は6年連続減少、(生産環境工)(98)は微減だが4年連続減少。
 - 農(87)は、2年ぶりに減少。学科別では、4学科全てが減少。(デザイン農)(70)は大幅減少で2年連続減少。(生物資源開発)(87)は前年度増加の反動で減少、(動物科学)(93)、(農)(97)はいずれもやや減少。
 - 生物産業(92)は、2018年度の改組以降5年連続減少。学科別では、(自然資源経営)(148)が3年連続減少の反動により大幅増加で唯一の増加。他の3学科はいずれも減少で、(海洋水産)(81)は大幅減少で、2018年度の改組以降5年連続減少、(北方圏農)(86)は3年連続減少、(食香粧化)(91)は減少だが前年度大幅増加の反動は小さかった。
 - 応用生物科学(99)は、微減だが現在の4学科となった2018年度以降5年連続減少。学科別では、増減が2学科ずつに分かれた。(農芸化)(111)は2年連続減少の反動で増加、(食品安全健康)(101)は3年連続減少の反動はなく微増。一方で、(栄養科学)(84)は前年度増加の反動で大幅減少、(醸造科学)(97)は前年度やや増加の反動でやや減少。
 - 生命科学(119)は、2年連続減少の反動で大幅増加。学科別では、3学科とも増加。(分子微生物)(131)、(分子生命化)(125)はいずれも2年連続減少の反動で大幅増加、(バイオサイエンス)(109)は2年連続増加。

- <共通テスト利用方式>**
- 国際食糧情報(75)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、4学科中で増加は(国際バイオビジネス)から改称した(アグリビジネス)(108)のみで2年連続増加。他の3学科は(国際農業開発)(48)は前年度2.4倍増の反動で半減以下、(食料環境経済)(72)は前年度増加の反動で大幅減少、(国際食糧科学)(83)は3年連続大幅減少。
 - 地域環境科学(111)は、3年連続減少の反動で増加。学科別では、4学科全てが増加。(地域創成科学)(121)は2年連続減少の反動で大幅増加、(生産環境工)(114)は前年度大幅減少の反動で増加、(造園科学)(106)は2年連続大幅減少の反動は小さくやや増加、(森林総合科学)(105)は前年度大幅増加に引き続きやや増加。
 - 農(83)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、4学科全てが減少。(動物科学)(68)は前年度激増の反動で大幅減少、(デザイン農)(86)は2年連続増加の反動で減少、(農)(87)は前年度大幅増加の反動で減少、(生物資源開発)(96)は前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。
 - 生物産業(76)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、4学科中で増加は(自然資源経営)(106)のみで、前年度大幅増加に引き続きやや増加。他の3学科は(海洋水産)(63)、(食香粧化)(74)、(北方圏農)(81)といずれも前年度大幅増加の反動で大幅減少。
 - 応用生物科学(99)は、微減だが3年連続減少。学科別では、増加は(農芸化)(123)のみで2年連続大幅減少の反動で大幅増加。他の3学科はいずれも減少で、(栄養科学)(78)は大幅減少で志願者数は300人を下回った。(醸造科学)(89)は6年連続減少、(食品安全健康)(95)はやや減少で3年連続減少。
 - 生命科学(117)は、2年連続大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、3学科中2学科が増加。(分子微生物)(166)は2年連続

大幅減少の反動と理科を必須から選択としたことで激増、(バイオサイエンス)(114)も2年連続大幅減少の反動で増加。一方で、(分子生命化)(95)はやや減少だが4年連続減少。